

# 平成27年度の活動について



とちぎバトラネット  
Tochigi Public Transportation Network

## 8月3日 第1回協議会

平成26年度の事業結果、平成27年度の事業計画を報告し、学校MM、ホームページの開設、新たなおでかけマップの作成、先進都市事例調査・研究を実施することに決定しました。

## 10月21日・12月8日 市貝町・高根沢町での学校MMの実施

公共交通である路線バスについて利用方法やマナーを学ぶことで児童の公共的な資質の向上を図るとともに、バスを身近に感じることで路線バスの利用促進を図ることを目的として、「学校MM」を実施しました。

【内容】 対象：市貝町立赤羽小学校 2年生  
高根沢町立阿久津小学校 2年生

・乗降体験：東野バスの乗り方教室を実施

※ 方向幕・バス停の見方（行き先確認）、整理券の取り方、乗車中のルール・マナー、降車ボタンの使用方法、運賃表の見方、運賃の支払方法等を学習

・福祉体験：車椅子での乗降体験、車椅子の固定方法などバス車両の対応を学習

・デマンド交通の紹介：デマンドタクシー「サシバふれあい号」（市貝町立赤羽小）  
デマンドバス「たんたん号」（高根沢町立阿久津小）

【感想】（児童から）

・乗る時にもらう券とお金を一緒に箱に入れるなんて、初めて知った。

・車イスを乗せる時は、バスのイスを2つ畳んでなくすことにびっくりした。

（担任の先生から）

・なかなかバスに乗る機会のない子どもたちが、路線バスに関心をもつことができた。

・何時間かかけてもう少し詳しい内容で実施できると良い。

（市貝町立赤羽小の保護者から）

・次は路線を走っている本当のバスに乗りたいと言っていた。

・たまには家族でバスに乗って買い物や旅行などもしてみたいと思った。

・バスの路線図や料金表、時刻表が身近にあれば利用することを考えるかもしれない。

## ホームページの内容検討ワークショップ及びホームページの開設

協議会活動及び県央地域の広域的な公共交通の情報を提供することで、公共交通に対する理解や利用促進が期待できることから、ホームページを開設しました。ホームページの作成にあたってはワークショップを実施し、レイアウトや必要な情報についての意見交換をしました。

【ホームページの内容】

公共交通に関する情報や鉄道やバスで観光するモデルコースを紹介

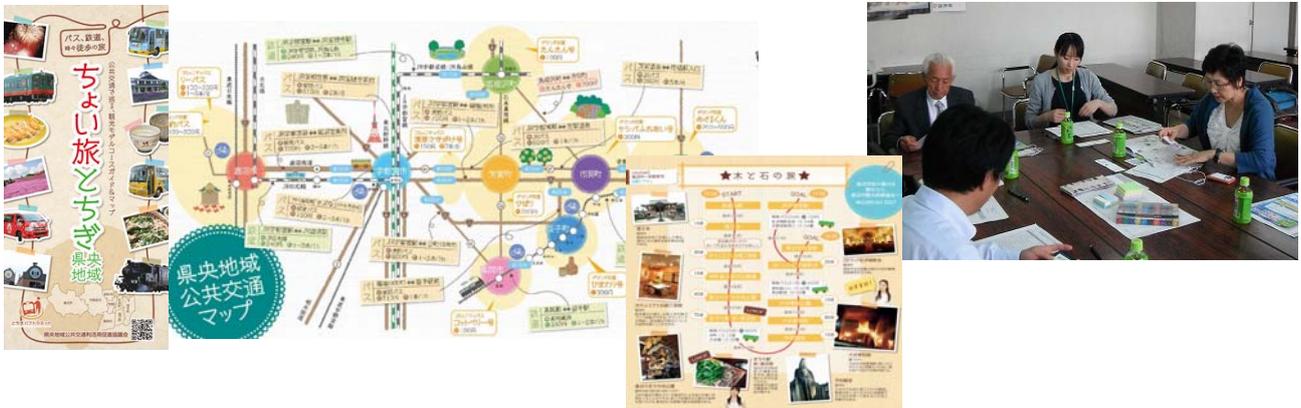
- ・観光モデルコース5コース
- ・県央地域の公共交通事業者紹介
- ・観光情報
- ・県央地域公共交通利活用促進協議会の紹介
- ・活動内容
- ・フェイスブックの表示 など



## 新たなおでかけマップ作成ワークショップ

公共交通の利用促進のため、鉄道や広域路線バスを活用した観光モデルコースや公共交通情報を掲載したリーフレットについてワークショップ形式で検討しました。平成26年度に策定した周遊ルートを中心に、イメージやレイアウト、掲載情報について意見を出し合い、新たなおでかけマップ「ちよい旅とちぎ」を作成しました。

【ちよい旅とちぎ】(HP上での掲載ページ：[www.tochigi-pubtranet.com/32.html](http://www.tochigi-pubtranet.com/32.html))



## 先進都市事例調査・研究

県央地域が抱える短期または長期的課題に関する先進事例を調査、研究するために、先進地視察を実施しました。

### 《視察地》

イーグルバス(株) : ・ダイヤ最適化システム ・こま川団地循環「おでかけサポート便」  
・小江戸巡回バス ・ときがわ町路線バス 等

埼玉県ときがわ町：・せせらぎバスセンター（現地視察）

### 《視察日》

平成28年2月18日～19日

### 《視察結果》

データによる見える化で運行改善が可能なことを実証しており、運行内容の把握とデータ活用の重要性が再認識できた。

また、事業者としての努力や、具体的な改善策を知ることができた。

需要創出のため地域資源の発掘や、地域と協力した観光客を呼び込む企画などについては今後の活動の参考としたい。また、公共交通ネットワークを形成するために重要なデマンドとバスの連携についても、乗継環境の整備や乗継割引などの取組が参考となった。



## 3月22日 第2回協議会

第2回協議会では、ワークショップで作成した「ちよい旅とちぎ」やホームページについて報告するとともに、来年度の地域フォーラムの開催や公共交通利用促進策の検討ワークショップの概要について決定しました。また、来年度も引き続き、学校MM、先進都市事例調査・研究の実施を決定しました。

今年度で公募委員の任期が満了することに伴い、公募委員の再公募を行うこととしました。併せて各市町からの推薦委員も再推薦等により組織を再編成することになりました。